

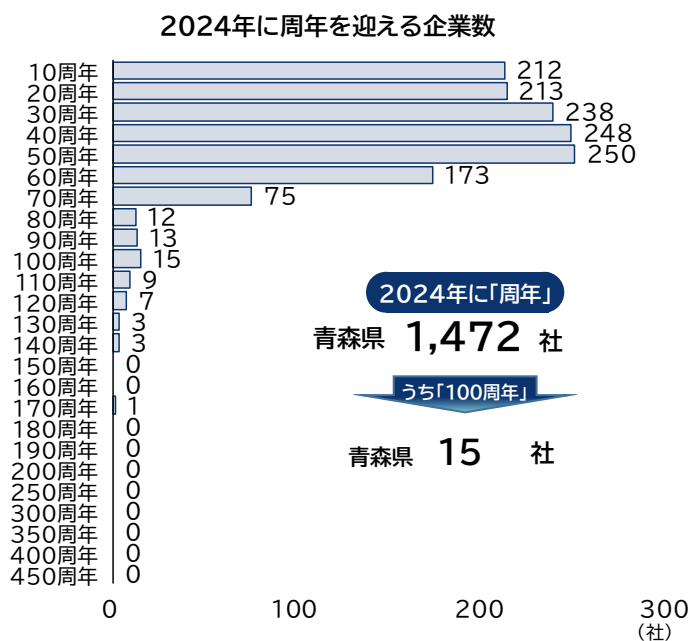
特別企画：2024 年「青森県周年記念企業」調査

2024 年の「周年記念企業」は青森県に1472社

はじめに

企業に寿命はないため、安定的に利益を確保し、経営を承継する人材を育成していくことができれば、永続していくことが可能である。ただ長期にわたり企業を存続、発展させることは容易ではなく、単純に規模が大きい、あるいは利益がでている企業が長年にわたり存続するものでもない。

帝国データバンク 青森支店では、2024 年に創業から節目の年を迎える企業（個人経営、特殊法人等含む）を「周年記念企業」として、2023 年 11 月時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約 147 万社収録）から、創業年以降 10 年刻みで抽出し集計した。



〔注〕周年は創業～200周年まで「10年刻み」、200周年以降は「50周年刻み」で算出

調査結果（要旨）

- 2024 年に節目の年を迎える企業「周年記念企業」は、青森県で 1472 社。このうち 100 周年は 15 社判明
- 業種別では建設業が周年企業全体の 32.3%を占めてトップ
- 青森、八戸、弘前の 3 市で計 801 社と全体の過半を占める

1. 周年記念企業数 — 全国に 13 万 224 社、青森県は 1472 社

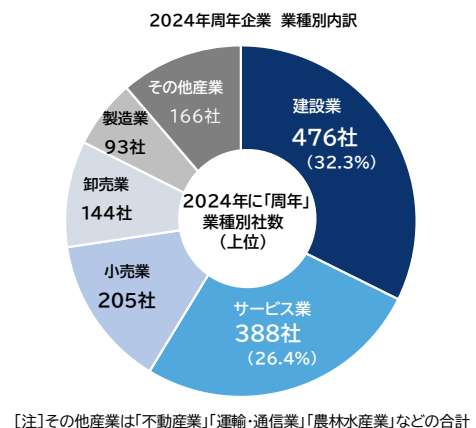
来る 2024 年に創業から節目の年となる「周年記念」を迎える企業は、全国に 13 万 224 社、青森県では 1472 社を数える。このうち 1974 年（昭和 49 年）に創業し「50 周年」を迎える企業が 250 で最多となった。また、1924 年（大正 13 年）創業の「100 周年」は 15 社判明した。

2. 業種別 — 創業 30、50 周年は「建設業」、100 周年は「卸売業」がトップ

創業 10、30、50、100 周年（以降 50 年刻み）企業の社数を業種別にみると、10 周年では「サービス業」が 66 社で最多となり、30 と 50 周年では「建設業」がいずれも構成比 30% を超え最多となった。

業種別	周年				(社)	
	10	30	50	100	総計	構成比
農・林・水産業	7	8	5		39	2.6%
金融業	1	2	2		12	0.8%
建設業	64	86	102	4	476	32.3%
不動産業	12	8	4		55	3.7%
製造業	12	7	16	2	93	6.3%
卸売業	16	22	16	5	144	9.8%
小売業	21	34	34	4	205	13.9%
運輸業	5	11	7		50	3.4%
サービス業	66	60	63		388	26.4%
その他	8		1		10	0.7%
合計	212	238	250	15	1472	100.0%

注：構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100にならないことがある



3. 市区郡別 — 全体社数は八戸市が 306 社でトップ

八戸市が 306 社でトップ。青森市 302 社、弘前市 193 社と続き、上位 3 市にて過半を占める状況にある。

市区郡別	周年				総計	市区郡別	(社)				総計
	10	30	50	100			10	30	50	100	
八戸市	50	52	40	6	306	黒石市	7	13	6		45
青森市	48	36	45	4	302	北津軽郡	2	7	10		44
弘前市	31	31	26	1	193	つがる市	1	2	11	1	37
上北郡	16	26	22		119	南津軽郡	5	10	5		30
十和田市	11	11	14		78	平川市	5	6	6	1	27
三戸郡	7	12	11		78	下北郡	1	8	3		18
五所川原市	9	8	20		58	西津軽郡	1		5	2	17
むつ市	6	5	13		57	東津軽郡		5	4		13
三沢市	12	5	9		49	中津軽郡		1			1

4. 年商規模別— 1億円未満が969社

年商規模別でみると、50 周年までは1 億円未満が全体の過半を占めているが、100 周年については1 億円～10 億円未満が最多となる。全体件数としては10 億円未満が全体の9 割以上となる。

年商規模別	周年				(社)
	10	30	50	100	総計
1億円未満	151	152	163	5	969
1億～10億円未満	52	77	77	8	430
10億～50億円未満	7	8	9	1	62
50億～100億円未満	2	1		1	7
100億～500億円未満			1		4

5. まとめ

創業年から10年刻みで集計した結果、青森県にて来る2024年に節目の「周年記念」を迎える企業は1472社判明した。時代によって様々な環境変化がある中で、長きにわたり企業を存続・発展させていくのは容易なことではない。単純に規模の大きい企業だから存続しているのではなく、また、短期的に高収益を出した企業が存続しているものでもない。決算書には直接的には表れない人材、ブランド、信用、技術といった「知的資産」を擁し、それを活かした経営を継続、承継してきた企業が長きにわたり存続してきたと言える。

企業にとって周年記念は、組織における一体感の醸成や自社ブランド、イメージ向上の機会になる。また、社員一同が創業当時の歴史を再確認し、自社の「知的資産」を認識、共有し、未来に向けて事業戦略などを見直す機会ともなりうる。全国でみると、創業100周年を迎えるダイキン工業（大阪市北区）は、100周年の記念事業として本社移転を行い、次の100年を見据えた環境づくりを推進している。創業150周年を迎える西松建設（東京都港区）は、新たなタグライン「まかされる人が、いる。」制定やロゴマークの刷新などを行っている。その他にも周年を節目として、企業ホームページのリニューアル、新社屋の建設、移転、ISOなどの認証取得、制服や作業着の見直しなど、企業イメージの刷新に向けた様々な取り組みのきっかけとする企業も多い。本県においても様々な環境変化に対応しつつ、この先も周年の節目を迎える企業が1社でも多く増加し、さらなる発展を遂げることを期待したい。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 青森支店 支店長 徳永 博一

TEL 017-776-5048 FAX 017-723-4414

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。